

年末年始は五つの場面に注意しましょう



年末年始は飲み会などで人の交流が多くなります。新型コロナウイルス感染症を拡大させないために、感染リスクを下げる行動を心掛けましょう。

感染リスクが高まる五つの場面

- ① 飲食を伴う懇親会
飲酒の影響で、気分が高揚し注意力が低下します。回し飲みをしたり箸などを共用したりすると、感染リスクが高まります。
- ② 大人数や長時間に及ぶ飲食
狭い空間に長時間滞在したり、大声で話したりすると、感染リスクが高まります。
- ③ マスクなしでの会話
マスクなしに近距離で会話をすると、飛沫感染が懸念されます。車やバスで移動するときの車内でも注意が必要です。
- ④ 狭い空間での共同生活
寮の部屋やトイレなど、共用部分での感染が疑われる事例が

発生しています。

- ⑤ 居場所の切り替わり
課外活動や、仕事での休憩時間など、居場所が切り替わると気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まります。休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が発生しています。

会食するときの心掛け

- ① 飲酒をする場合は
● 少人数・短時間で行う
- なるべく普段一緒にいる人と行う
- 深酒・はしご酒などは控え、適量を心掛ける
- ② 箸やコップは使い回さない
- ③ 席の配置は正面や真横をなるべく避け、斜め向かいにする
- ④ 会話をするときはマスクを着

- 用し、小まめに換気する
- ⑤ 体調が悪い人は参加しない
 - ⑥ 接触確認アプリ(COCoA)を利用する

事業者の皆さんへ

ガイドラインを順守し、共用施設の清掃・消毒、手洗い・アルコール消毒を徹底しましょう。

医療機関を受診するときは

インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が懸念されます。発熱など感染が疑われる症状がある人は、受診前に必ずかかりつけ医などに電話相談しましょう。受診する時間と方法を確認した上で、マスクを着用し、受診するようしましょう。

問い合わせ先

健康管理課予防班

☎ 63・8766